



応募名称

## 各工場における地域農産物を利用した製品開発の取組

会社名、事業場名

山崎製パン株式会社

東京都千代田区 / <http://www.yamazakipan.co.jp/>

### ■ 具体的な取組内容 ■

当社では、全国で統一規格となる製品の他に、全国 25 工場の開発部門が独自に製品開発を行っています。その中で地域の農産物を利用した特色ある製品を開発し、地域農産物の利用拡大につながっています。

#### 1. 地域と密着した製品開発

各工場は、それぞれの地域に密着した製品開発をするにあたり、地元の農業協同組合や生産者団体等のご協力をいただき、ご提案いただいた農産物のジャムやクリーム等への利用法や味の確認、また利用可能量等の検討を共同で行いながら開発を行い、また、農産物の“旬”にあわせた製品が発売できるよう新製品の開発に取り組んでいます。さらに、パッケージデザインへの JA ロゴや農産物ブランドのロゴマークの使用も一緒に検討し、毎年継続的に地元と一体となった製品開発をおこなっています。

#### 2. 地域のブランド農産物有効利用の相乗効果

生産者にとっても加工原料用の出荷先が拡大し、収益に繋がるだけでなく、当社製品への利用が地域農産物の知名度向上にも役立っています。また、味や品質は変わらないのに色や大きさ、形状など見た目の規格に合わず、生食用として出荷しづらいものも使用することがあり、農産物出荷の量的拡大と無駄のない利用により“もったいない”を減らすことにもつながっています。

当社にとっても、製品のバラエティ化が進むとともに、高品質な地域農産物を製品利用することによる品質向上や製品のブランド強化にも貢献するという相乗効果を生んでいます。さらに、地域の農産物を原料として利用した開発工場の「地産地消製品」として展開するだけでなく、地域で売れ行きが好調となった製品については「ご当地商品」として全国販売への展開を行っています。



#### ● 製品事例の一部

- ①岩手県産 やまぶどう
- ②新潟県産 『おけさ柿』
- ③千葉県 『市川のなし』
- ④静岡県産 『三ヶ日みかん』



- ⑤愛知県産 いちじく
- ⑥広島県産 『大長みかん』
- ⑦福岡県産 『あまおう』 苺



※掲載した製品は一例です。また、一部地域のみでの販売製品や、販売季節が限定されているものも含まれています。

### ■ 評価 ■

全国の 25 工場が開発・生産する「ご当地商品」に、生産現場で大きさや形状、色等の関係でやむを得ず未出荷となることの多い規格外農産物を原料の一部に利用した 6 次産業化の取組。各工場の開発部門が、地域の農業者・農業協同組合と連携し、製品企画から原料調達まで一貫して取り組んでいる点も評価された。各地のブランド農産物を主力商品に利用することで話題性も高く、波及効果が期待される。